

平成26年度

第4回下鴨サロン & 第4回あおいサロン

(京都政策研究センター事業)

(男女共同参画推進室ロールモデルセミナー)

特別
企画

日本の草分け

京都の先輩手話通訳者と共に歩んで

～これからの手話通訳制度、聴覚障害者福祉を考える～



こもり ふみ

小森 典

京都府乙訓教育局
企画教育課主査



経歴

1991年に京都府立大学文学部文学科（国文学中国文学専攻）を卒業し、同年、京都府庁入庁。

向日市在住の手話通訳士として活躍中。現在は、聴覚障害者の夫、健聴者の娘6歳とのバイリンガル生活。

* 12月22日(月) 18:00～19:30

* at 京都府職員研修・研究支援センター

2F 視聴覚室

* お問い合わせ・お申込み

京都府立大学京都政策研究センター 菱木・村山

Tel: 075-703-5319 E-mail: kpiinfo@kpu.ac.jp

要約筆記通訳等が必要な方は、お手数ですが12月15日(月)までに上記メールアドレスにご連絡ください。

←20代の頃。

インドネシアのろう学校で



大学入学と共に学び始めた手話との関わりは四半世紀を超えました。

全国手話通訳問題研究会に所属。長年、機関紙『手話通訳問題研究』の編集にも関わり、聴覚障害者のくらしの向上や手話通訳制度の拡充を求めて、全国の手話通訳者と共に活動してきました。

日本の手話通訳制度を牽引してきた京都の先駆者たちの姿に学び、がむしゃらに後を追ってきた日々。手話通訳者の毎日、手話通訳制度の課題、聞こえない方々の人生を通して学んだたくさんしたこと、思いつくままにお話してみたいと思います。

日本も障害者権利条約を批准し、全国各地で手話を言語と認める条例が制定・施行されています。聞こえない人の権利の保障、合理的配慮・・・まずは、京都府庁で、府立大学で、どんなことに取組めるのか。

まだまだ子育てモードの頭ですが、皆さんと一緒に考え、これからおもしろいことが始まりそう！そんな夜にしましょう。

※「下鴨サロン」とは、府大教員の教育研究内容を、広く府の職員の方々にも知って頂き、教員と府職員によるざっくばらんな政策議論のできる場として開催しています。ここでの議論は、肩書はせずし、既存の政策の枠組みにとらわれない議論をめざしています。また、平成25年度から、京都府職員の方にも講師を務めていただいています。

※「あおいサロン」とは、研究機関や企業の最前線で働く女性から話題提供をしていただいた上で、少人数のワークショップ形式でこれからの働き方やライフイベントとの付き合い方を語り合い、研究領域や立場を超えて、気軽に悩みを共有し、交流を図るネットワーキングの場として開催しています。